



令和3年3月16日  
小田原市立報徳幼稚園  
園長 岩崎 明美

## ほし組さん 卒園おめでとうございます！

少しずつあたたかい春の日差しが心地よくなり、園庭のチューリップのつぼみも膨らんできました。寒かった冬から、あっという間に季節は春になりました。

今年度は、臨時休園に始まり、新型コロナウイルス感染予防対策のもと、時差登園をしたり、行事を中止や延期にしたりしてきました。子どもたちの安全・安心を大切に、無理のないように考え、方法を変えて行う活動もありました。

そのような中、保護者や地域の皆様のご理解やご協力をいただき、子どもたちは楽しく園生活を過ごすことができました。ありがとうございました。

年長組の生活も、あと1日。いよいよ卒園ですね。23人の子どもたちがそろって笑顔で卒園していく姿が目に見えます。これからも、友達にやさしい、笑顔の素敵な報徳っ子でいてください。

### ～たくさん遊んだね！～

第2学期にたくさん遊んだ店屋ごっこ。第3学期にも「今度は他のお店にしたい！」「これを作るのにどうしたらいいのかな？」と、友達と相談しながら作ったり準備したりして、たくさん遊んできました。

中には、ピタゴラスイッチのようにビー玉を転がすのに、「こっちにつけたらどう？」「なんで転がらないんだろう？」「そっち押さえて！」と、友達と協力して段ボールやホースなどを組み合わせ、遊びをつくりあげた姿も見られました。自分たちで考え、工夫し、夢中になって取り組んでいた様子を見ると、たくましくなったことを感じます。

3月には、年少組を招待し、「アイスおいしいよ！」「ここで食べてね！」「お花はいかがですか？」などと、やりとりを楽しんでいました。



<ピタゴラスイッチ>



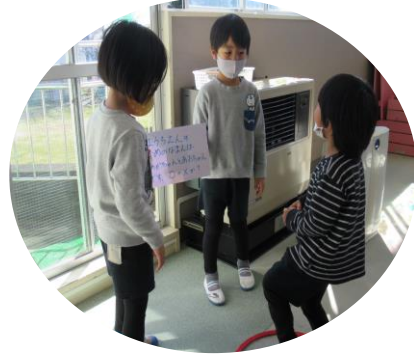
<おもちゃを作ろう！>



<お花をどうぞ！>



<アイス屋です！>



<クイズ、わかるかな？>

## ～豆まき～



2月3日（水）、立春の次の日に豆まきを行いました。今年は、子ども同士半分ずつ“鬼”と“豆をまく人”に分かれて行いました。年長の豆屋からもらった豆を色とりどりの鬼に向かって、「鬼はあ〜外！」。お腹の中にいたいろいろな鬼を退治しました。日本の行事をこれからも大切にしていきたいです。



## ～報徳小学校5年生、城北中学校3年生 との交流～

報徳小学校5年生のお兄さん、お姉さんと一緒に植えた花やラディッシュ。時々、報徳ランドに水やりに行っていました。やさしいお兄さん、お姉さんから報徳ランドの地図やしおりをいただき、嬉しそうにしていたほし組さん。少ない時間の中でも、幼小の交流ができました。

城北中学校の3年生が手作りの絵本を届けてくれました。手作りの絵本だけに内容はさまざま…。弁当の後などで、見て楽しんでいました。学校に行くことはできなかったけれど、少しの間、交流を楽しんでいた子どもたちでした。





## ～ありがとう！～

畑の栽培活動や環境整備等で2年間お世話になった杉崎さん、望月さんにお礼の手紙を届けました。「ありがとうございました!」。感謝の気持ちを子どもたちなりの表現で伝えていました。



## ～保育参加～

卒園記念として、親子で紙粘土を使って鉛筆立てをつくりました。親子で相談し丁寧につくり上げていく様子は、ほほえましかったです。大切に使うくださいね!



## ～お別れ散歩!～



3月10日(水)に、年少、年長一緒に尊徳記念館までお別れ散歩に行きました。黄色い菜の花や富士山、メダカ、ハヤ等が見られ、春の報徳の自然を楽しむことができました。小田急線の電車からは運転手さんが手を振ってくれて、大喜びの子どもたちでした。尊徳記念館で記念写真を撮った後、園に戻り、園庭でお弁当とお楽しみのお菓子を食べました。年長と年少と一緒に、遠足気分を味わいながら、楽しいひとときを過ごしました。



楽しいこと、笑ったこと、たくさんあったね。友達と一緒に過ごした毎日は、きっと素敵な思い出になったことでしょう。今度は小学生。たくさん友達をつかって、いろいろなことに挑戦して、素敵なお兄さん、お姉さんになっていってください♡

